

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成31年3月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104506
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム小野の里
所在地	鹿児島市小野2丁目10番18号 (電話) 099-220-7070
自己評価作成日	平成31年2月10日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成31年2月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

四季の移り変わりや時間の流れ日々の変化を感じて頂けるようなホームを目指し取り組んでいます。地域の町内活動への参加や季節ごとのイベントを行うとともに、季節に合った掲示や植物の育成を行いホームの中でも、外出の際にも時間の流れを感じて頂けるような工夫をして、入居者の皆様に楽しんで頂けるよう努めています。また、お一人お一人のやりたいこと、できることに注目し、これまで培ってきた趣味や特技を日々のレクリエーションやイベントで発揮して頂けるよう、入居者様を中心となった生活が送れることに力を入れて取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは鹿児島市中心部から北に位置し、国道から入り近隣には温泉やコンビニなどがある閑静な住宅地の中にある。
町内会に加入し回覧板を活用しパンフレットやホーム行事の案内を回覧してもらったり、地域の文化祭などへは利用者と見学に行ったり、ホーム行事に地域の方が参加してもらっている、また管理者は地域のコミュニティでの認知症の研修会の手伝いに行くなど、地域がコミュニティで広範囲になっているが事業自体が地域とは日常的に交流している。
管理者や職員は、理念に沿って利用者の尊厳や誇りを大切に、思いや意向の把握に努めながら、利用者のやりたいこと、出来る事生きがいのある日々を過ごせるよう、「寄り添う」を意識しながらの支援に取り組んでいる。天候や利用者の健康状態に配慮し、希望に沿って外出やレクリエーション等に取り組み、個別の対応支援も積極的に行っている。
管理者は、日頃から職員との信頼関係や協力体制の構築に努め、職員からの意見・提案・意向等を話しやすい雰囲気努め、サービスの質の向上を図っている。職員のスキルアップや資格取得には法人研修やホームでの勉強会の実施をしている。また職員に対しては法人が企画した「S,カフェ」が発足し、参加することで職員の働きやすい環境に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	共通理解した上で実践へつなげている。また、現在の理念を更に今の現状に沿ったものとなるよう入居者様本位のホームとなるよう職員全体で取り組んでいる。	現状に沿った利用者主体の支援を理念に掲げ、ホームの玄関やリビング・廊下に掲示しパンフレットに記載されている。職員は「寄り添う」事を意識し、利用者の尊厳や想いを大切に、利用者主体のより良い生活ができるよう、理念に沿ったケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントに参加することはもとより、ホームのイベントへもお越し頂けるよう呼びかけ、ハロウィンパーティには地域の方ももちろん、他のグループホームの方にも参加して頂き、入居者様が地域の中で暮らして頂けるよう支援している。	町内会に加入し、回覧板でパンフレットを回覧してもらった事もある。地域のイベントへは利用者も一緒に見学に行ったり、文化祭へは作品を出した事もある。ボランティアや実習生の受入れもしている。管理者は地域の認知症の研修会の手伝いにも参加しているなど地域とは日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	ご家族の方の相談やサービス利用時のお手伝いや説明、案内を行っている。また、地域での認知症サポーターの推進や地域のコミュニティでの認知症への理解が出来るよう取り組んでいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状のホームの状況を理解して頂く為、ホームイベントのDVDを作成し閲覧して頂いている。また、意見についても検討し再度報告させて頂き、ご家族のニーズも叶うよう取り組んでいる。	家族代表・地域住民・行政・利用者・民生委員等が参加し定期的に開催している。ホームの現状や行事・ヒヤリハット・事事故例の状況報告を行い、参加者から意見や要望を聞くなど活発な意見交換の場となり、出された意見はサービス向上に繋げている。会議後は毎回ではないが参加できなかった家族へ報告している。家族の参加者の固定化や地域の参加者を今後増やす事を検討中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村主催の研修、勉強会に参加し、サービスでの疑問や対応方法について質問や報告を行うことで協力関係を築いている。	市担当者とは、日常的に介護保険や各種制度の手続き、困難事例の対応や災害時の避難場所など相談等を行い、助言・指導を受けている。市主催の会合や研修会へは積極的に参加し、運営推進会議へも参加をもらうなど協力関係は築かれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のカンファレンス時に身体拘束委員会を実施し、身体拘束に関する勉強会も行っている。入居者様と寄り添うことでご自身のやりたいことが出来る環境づくりに努めている。	マニュアルや指針もあり、ミーティングや勉強会でも話し合っている。質問式のアンケートを職員に取ったり年間の研修もあり、拘束のないケアの実践に取り組んでいる。利用者が「嫌だ」という精神的な拘束はしない寄り添うことを意識しながら、日々身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内での勉強会や外部での研修に参加している。事業所内でも掲示やスタッフ同士が声を掛け合い虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度を利用している入居者もおり、権利擁護についての内部研修や外部研修も取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時は重要事項説明書・契約内容を一緒に確認し、説明を行っている。合間や終わりに不明な点がないか確認を行っている。リスク説明も行い、認知症・高齢者の特徴なども説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関先に意見箱を設置しており、運営推進会議や面会時にいつでも意見が言えるような雰囲気づくりに努めている。また、廊下等にも気づいたことなどすぐに意見が言えるよう記入用紙の設置をしている。資格取得には研修に参加するよう支援している。	日頃から見守りや寄り添いに心がけ、利用者の思いや意見を会話や表情・しぐさで把握に努めている。家族からは面会時や運営推進会議などで意見要望を聞いている。出された意見等は全員で協議してサービスの向上に取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンス時に職員の意見を聞いたり、必要時には個人面談を行っている。	管理者は日頃から職員とのコミュニケーションに努め、日々のミーティングや職員会議で意見提案を聞いている。年1回の個人面談を行ったり、人事評価シートを記入して次年度の目標を掲げている。出された意見提案等は、全員で改善に取り組んでいる。スキルアップでは法人の研修やホームでの研修の実施がある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の資格取得に向けた支援を行い、取得後は労働条件・給与に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の紹介し、研修を受ける機会を設けている。内部研修も年間行事計画に入れ込んでおり、研修へ参加出来なかった職員へも報告書を回覧している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>関連事業所・他事業所との研修にて意見交換を行うなど、交流する機会を設けている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の見学の段階より本人様との信頼関係を築く事が出来るよう心がけている。入居時にも詳細な聞き取りを行い、安心して過ごして頂けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の要望等にもしっかりと身もを傾け安心して過ごして頂けるよう心掛けている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族の希望に沿ったケアプランの説明を行うことや主治医等との連携を図ることで必要な支援を明確化し取り組んでいる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様お一人お一人の生活歴に着目し、趣味や特技を生かし日々の生活を楽しくして頂けるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人様、ご家族の要望でいつでも外出、外泊、面会が出来る事を入居時より説明を行っている。ご家族様も参加できるイベントを行うことで一緒に過ごせる時間を提供している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族に知人等の面会についても支援いただけるよう入居時にお伝えしたり、これまでの主治医等も継続して利用できるよう支援している。	近隣地域からの入所者が多く、友人知人の来訪がある。家族が馴染みの友人・先生を連れて来られる。本人の希望に沿って買い物や美容室・墓参りに家族の支援で行かれる方もいる。電話の取次ぎや、携帯電話をお持ちの利用者には、ホームが管理させてもらっている。馴染みの人や場との関係継続支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士が交流を持てるようスタッフが介入しながらコミュニケーションを図っている。レク等でも他の方も楽しめるように互いに気を配りながら取り組む様子が伺えている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後のお見舞いや連絡等を行い、その後の関係維持に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者様一人一人の暮らし方に合わせて支援を行っている。生活歴を知ることによってその方らしい生活ができるようご家族と連絡を取りながら環境整備に努めている。	利用者の思いや意向を日々の支援の中で把握するよう努め、利用者主体の最善のケアになるよう家族と連携し取り組んでいる。入所されてから元気になられた方も多く、思いをくみ取り、心身の状況に配慮しながら個別の支援に取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前、入居時にアセスメントを行い、その方の生活歴の把握を行い、環境作りに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各入居者の出来る事、したい事を引き出せるよう取り組んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のカンファレンス時に入居者ひとりひとりのケアについて話し合い、そこで出た課題等を介護計画に反映している。毎月のモニタリングについても担当ケアを中心に作成し、スタッフ間で統一したケアを行うように周知も行なっている。	利用者と家族の思いや意向を基に毎月のカンファレンスやモニタリングの他、日々の職員の意見も参考にしながらプランを作成している。訪問時の医師や看護師からも助言をもらいプランに反映させている。状態に変化がみられる場合には、話し合い現状に即したプランに変更している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケアで気付いた事は随時、申し送りをし、情報共有を行っている。個別の記録にも記入している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ホーム内だけのサービスだけではなく、地域での取り組みやその他利用できるサービスをコミュニティ等に参加し、常に情報収集している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	訪問マッサージや訪問美容室の利用を行っている。また、地域活動への参加や保育園との交流などにも力を入れている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族、本人様の要望に応じて。かかりつけ医を決めている。在宅診療、病院の往診を利用している方もおられる。系列の病院へはスタッフが同行している。	入居後も利用者や家族の希望する医療機関を受診できるよう、家族と職員が協力し受診を支援している。協力医療機関も希望するかかりつけ医も訪問診療が受けられ、毎日の安心につながっている。他科受診は往診以外は家族の協力支援となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>病院の受診時、在宅訪問診療時に、看護師に状況を伝え連携を図っている。その他体調悪化等見られた際にも主治医に報告し対応するよう努めています。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院時に介護サマリーの提供を行っている。入院中は見舞いやカンファレンス等の参加を積極的に行い、情報収集に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>その時々で、主治医、ご家族、本人、スタッフを交え今後の方針について話し合いを行い、それぞれの意向を伺い、方向性を決めている。</p>	<p>重度化や終末期に向けたケアについては入所時に、本人や家族に指針を基に説明し同意を得ている。本人や家族の意向を大切にしながら、職員やかかりつけ医、家族と十分な話し合いを行い適切な支援が出来るよう努めている。母体協力医療機関とは24時間体制で連携がとれている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>ミーティング時に入居者のケアや急変時の対応等の話し合いを行っている。マニュアル等も掲示しすぐに対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練を定期的に行い、訓練体制を築いている。消防署の方からの助言も受けながら行っている。</p>	<p>年1回は消防署立ち合いの下で、1回は自主で避難訓練を行っている。自主で土砂災害時の訓練も実施している。災害時に備えたスプリンクラーや自動通報装置をはじめ食糧・飲料水等の備蓄も確保されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方を尊重すると共に、言葉かけに注意を払いながら敬意を常に使い、なれ合いの関係にならないように支援を行っている。	人格の尊重やプライバシーの確保については、研修を実施している。また日常的に職員間で意見交換して尊厳に配慮したケアの実践に取り組んでいる。居室への入室や、排せつ・入浴等のケアについては、特に人格を損ねる言葉や対応を行わないよう職員は意識しながら支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者一人、1人に対して本人の意向を伺い、出来るだけ本人様の希望に沿える様な支援を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	レク等も入居者様がやりたいことが出来るよう準備し、入浴や散歩等もご自分のペースで出来るよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	入居者の必要性のある衣類、物品についてはご家族の協力を得ながら揃えたり、起床時は洗面所で整えて頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	甘み、酸味、辛味等を取り入れながら、偏った食事にならないように心がけている。	利用者の嗜好や食事形態等を把握しながら、旬の野菜を取り入れ季節感のある食事を提供している。利用者には調理のごしらせやホットケーキ作り等、またテーブル拭きなど出来る事は手伝ってもらっている。花見には弁当、誕生日にはケーキを作ったり、また家族参加のソーマン流しへの外食など、食事を楽しむ事ができる支援に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日、食事、水分の確認し把握している。入居者様の状態に応じて食事形態も工夫し季節の物を取り入れ、バランスも偏らないよう心掛けている。時折目の前で調理し楽しんで頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの介助が必要な方は洗浄だけ行い、自立の方は見守り、声かけを行っている。1日置きに義歯洗浄を行い、必要に応じて歯科往診依頼している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	毎食前後のトイレ案内だけではなく、排泄のタイミング、言動、表情も見て支援が行えるようにしている。	利用者の排泄パターンを排泄チェック表の活用や、表情やしぐさでも把握し可能な限りトイレでの排泄を支援している。尿意を感じられる方が多く、入所後に布下着に改善された方もいる。また食事や水分の摂取状況や運動量等も把握し便秘の予防に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日中の運動や水分摂取を行うようにし、状態に応じ医師に相談し薬も処方して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	体調や状況に合わせて安全な入浴実施し、介助、見守りを行っている。入浴剤を入れ、入浴時間を楽しんで頂いている。	週2回から3回の入浴が基本ではあるが、利用者の身体状況や希望に応じて柔軟に対応している。湯に浸かる方が多く、好みの温度で入浴剤等に配慮し、個浴でゆっくりと楽しめるように支援している。入浴後は水分補給や保湿クリームの流布なども行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は出来るだけ、活動的に過ごし。夜安眠できるよう支援を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ドクターや薬局にて使用方法等、確認し、薬情をファイルにて保管し、一人一人の症状、状況の変化の確認に努めている。飲み忘れないよう、スタッフと声掛けしながら行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴や力を活かした役割で食事準備、洗濯干し、たたみ、新聞たたみ、縫物の手伝いをお願いしている。テレビが好きな方にはDVD等で楽しんで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日には散歩に出たり、公用車でドライブに出掛けている。イベントや日々の買い物にも一緒に行ける環境を整えている。	天候や健康状態に配慮し、近隣や園庭への散歩また買い物、家族の協力をもらいながら一時帰宅・墓参りへの外出を支援している。また地域文化祭へ出かけたり、ホーム行事の初詣やゾーメン流し等、家族の参加も増え以前より外出が多くなり、利用者の気分転換に繋げている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で少しはお金を持っていたいと要望される方に対してはご家族に相談して自己管理をされている。自己管理の金額は把握している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話希望があった際は、こちらから掛けてからお話しして頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホール、廊下、居室、季節を取り入れたイラスト、折り紙の作品を掲示し楽しんで頂けるよう工夫している。</p>	<p>ホール全体が、採光を取り入れた広く明るい空間となっている。テーブルやソファ・テレビ等は利用者の動線や利便性に配慮して配置されている。利用者の作品や写真また季節を感じられる物が掲示され、玄関やテーブルには季節の花を飾り落ち着いた雰囲気となっている。整理整頓に心がけ、気持ちよく過ごせる環境の整備に取り組んでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにテレビやソファ等あり、他者や職員と談笑したり、映画鑑賞したりして思い思いに過ごしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に今まで使っていた物を持って来て頂き、過ごしやすい環境作りを心がけている。</p>	<p>ホーム備え付けの以外に、鏡・ドレッサー・タンス等使い慣れた家具を持ち込まれたり、コタツを敷いてテレビを見られる方や、写真や小物など持ち込み利用者自身の作品を飾る等、本人が居心地よく過ごせるよう工夫されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各部屋やトイレ、浴室等、名前を貼り、分かりやすいよう表示している。見守りにて自立した生活ができるよう支援をしている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない